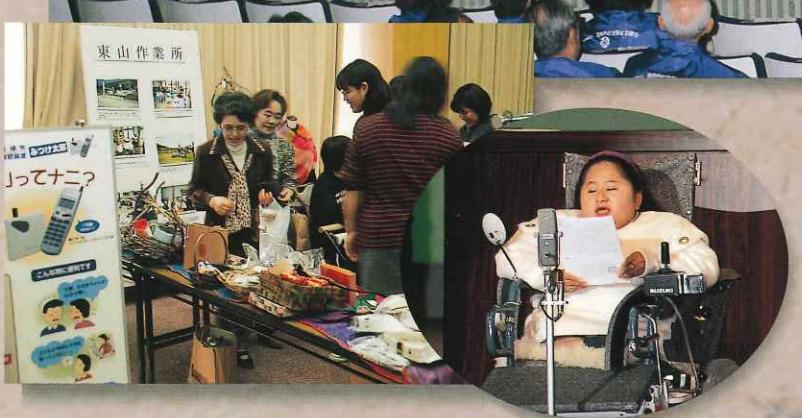


ボランティア OSAKA



第19号

2000
WINTER

●発行●

(福)大阪府社会福祉協議会
大阪府ボランティアセンター

特集

食事サービスボランティア
～その現状と課題～

●市町村ボラ連「Vサイン」No.8

池田市社会福祉協議会 設立50周年
池田市ボランティアセンター 設立10周年
記念イベント

特集

食事サービスボランティア

その現状と課題



高齢者の自立した生活を支え、地域社会とのふれあいに今や
欠かせないものとなっている食事サービス。

4月から始まる介護保険では「法定メニュー」とはなっていないものの、
「近い将来には介護保険のメニューに組み込まれるべき」という意見もあるように、
その社会サービスとしての重要性は多くの人が認めるところです。

すでに多くの市町村では、社会福祉協議会や地元の
NPO・ボランティアグループによる
「配食サービス」やミニ託老所での「ふれあい食事サービス」など、
高齢者の「食を保障する」活動が積極的に取り組まれています。
今回は、こうした食事サービスに取り組むボランティア活動を紹介しながら、
今後の展望・課題を探ってみたいと思います。

貝塚市

届けたいのはこの心 人の和が広がる「ふれあい給食」

貝塚市社会福祉協議会 高齢者給食サービス



和気あいあいとした和やかな雰囲気で楽しく作業が進められます

デザートの巨峰と、季節のごちそうがもりだくさん。リーダーの西絹子さんを中心には、気心の知れたボランティアさんたちが、小気味良いテンポで、ときばきと作業を進めていきます。

この「ふれあい弁当」給食サービスは、貝塚市社会福祉協議会が主体となつて社協の登録ボランティ

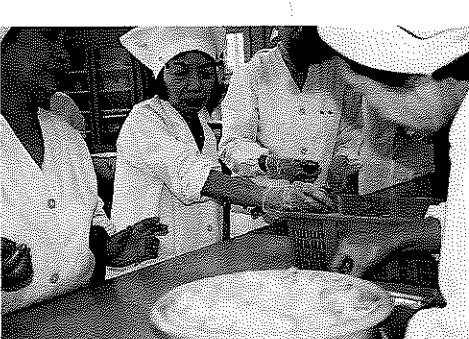
アと地区福祉委員会

との協力のもと実施される無料給食サービス。貝塚市内の独居高齢者約1000人のうち約500人に配食しております。

もともとは、独居高齢者の見守り訪問を兼ねて始まつた給食サービスだけ

り、その歴史は約18年にもなります。当社協のボランティアさん18名が、約500食にのぼるお弁当の調理にあたっています。献立は、栗ごはん、焼き魚、こんにゃくといんげんと三角いなりの焼きあわせ、柿なます、そして

徴です。



「衛生面には細心の注意を払っています」とリーダーの西さん(中央)



「行ってま～す！」元気に配達に向かう北校区福祉委員会会長の岸和田谷さん(右)



お弁当にはかわいいイラスト入りのラベルが

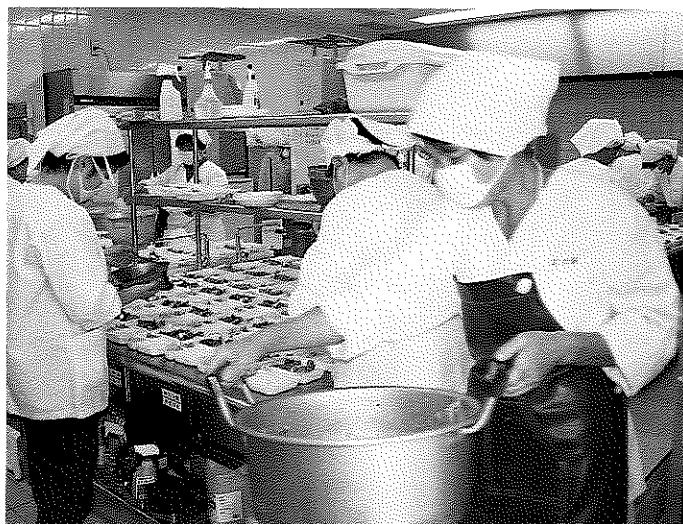


盛りつけは流れ作業で手際よく。
小一時間で500食のお弁当の完成です



ボランティアマインドあふれる 地域住民が協力

富田林市社会福祉協議会 在宅給食サービス



調理台にすらりと並べた容器に手分けしておかずを盛り付けます

社課に申請し、社協がコーディネートを行うもので、食事作りが困難な65歳以上の高齢者や重度障害者が対象です。

週3回20人あまりの調理ボランティアが社会福祉センターの調理室で朝8時から調理をスタート。調理者は、入室の際石鹼で手を洗つた後消毒器でも殺菌。三

角巾、マスク、かつぽう着、手袋をつけて、衛生には細心の注意を払います。

この日の献立は、ご飯、豚肉となすのピリ辛炒め、チーズ入り卵焼き、プロッコリーのおかか和えで512キロカロリー。3人の栄養士が交替で考えるため、毎見事なチームワークで

調理・盛り付け。配達へ引き継ぐ

富田林市では、平成8年から市の委託事業として、それまでの社協独自の在宅給食サービスを週3回に拡大。希望者は地域の民生委員を通じて高齢福

見事なチームワークで作業を進めています。

10時には出来上がり、お弁当は運転ボランティアの皆さんによって、市内各地の郵便局や自治会館等のキーステーションへ配達。そこで配食ボランティアに引き継がれ、今度は自転車や徒歩で各家庭へと配られます。

給食サービスを支えるのは 209名のボランティア

この一連の給食サービスを支えるのは、調理72名、運転19名、配食118名の、合計209名のボランティア。

募集は民生委員や市報を通じて行われており、調理担当の中には、20年選手

歩いてきます。自分の健康維持も兼ねてやっている感じですね」と、楽しんで活動している様子。また、「お年寄

りの喜ぶ顔が活力源。ありがとうございます」という言葉がボランティアの支えです。

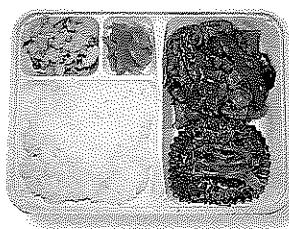
なにしろ150人分の料理ですか

ら、材料を刻むのも大仕事。業務用の大鍋や釜による豪快な調理で大変そうですが、そこは皆さん慣れたもの。取

材日担当だった栄養士の三上知子さんの指示に従い、自然に役割分担して、

う高齢者が利用しやすい値段設定も、大勢の方の協力があつてこそ。超高齢社会を目前にして、高齢者の自立を地域でサポートする仕組みとして、住民参加型の給食サービスの役割は今後ますます大きくなっていくのではないでしようか」

と富田林市社会福祉協議会の下西栄子さんは語っていました。



薄味で野菜たっぷりのお弁当。
プラス、社協の経費でデザート
がつきます（この日はみかん）



配食ボランティアが家庭まで届けます。利
用者がかけてくれる「いつもありがとうございます」という言葉がボランティアの支えです

「いきいき会」は、生協で福祉活動をしていたメンバーが、「安心して老いるには、安定した食の保障が欠かせない」と考えて地域の人々に呼びかけ、資金一千万円で事業を開始。スタッフ20人で、食事づくりに困っている高齢者に、800円で夕食を提供しています。

自分たちも食べなくなる
おいしく安全な食事がモットー



親しみやすい看板を掲げた「いきいき会」の事務所の前でポーズする調理スタッフのみなさん

食に対して深い関心をもつ主婦たちの作る同会のお弁当は、厳選した安全な食材を使用。「極力無農薬野菜を使い、調味料は無添加。おかずはすべて手作りで、加工食品は、おでんのごぼ天くらい」というくらい、徹底して安全な食を追求しています。

また「自分たちが食べたいと思うものを届ける」のがボリュームだけあって、内容は和洋中取り混ぜたバラエティに富む献立。1ヶ月間1日として同じ主菜は出しません。ホームの入った立派なお弁当箱で、毎回温かいお汁つきの夕食は「待ち遠しい」と利用者に評判です。

今では約100食の提供で軌道に乗っている「いきいき会」の活動にも糸余曲折がありました。夏と冬には食数が激減して赤字になることも。また、季節によっては供給が不安定な自然食品など食材を調達するための苦労もあります。

が、利用者から「いきいき会のお弁当を取り始めたら体調がよくなつた」などの声を聞くと、やる気が出るといいます。「自分の権利を主張できない高齢者の代わりに、自分たちが食をよくしていただきたい」という使命感」が苦しいときの支えになっているのです。

そんな熱意あふれるメンバーがいきいき働く同会では、かかるコストをどうするかが今後の課題。「高齢者が買

食をよくしたい!
熱い想いで週6日サービスを提供

有償ボランティアでの事業運営に踏み切った理由を、「いきいき会」代表の坂田朱美さんは「食事サービスは健康管理に関わる重要な仕事。ボランティアの自覚を促す意味でも、利用者との対等な関係を築く意味でも有償がベストの選択」と語ります。



週6日、安全で栄養に富む食事サービスを提供

高根いきいき会（高根いきいき地域福祉をめざす会）



ボリュームたっぷりで、おいしく栄養バランスに富むお弁当は利用者に絶大な支持を得ています



エプロン、三角巾、マスク着用で、衛生には注意しています

お弁当は、配食ボランティアの手で利用者の家に直接届けられます

1999 食事サービスセミナー in 関西



パネルディスカッション

**食事サービスは、介護予防の
観点からも重要**

11月22日、高槻市で「食事サービスセミナー in 関西」というシンポジウムが開催されました。主催は同・実行委員会と全国老人給食協力会（東京都世田谷区）で、明治生命などが共催。大阪府社会福祉協議会も後援しました。テーマは「変わる福祉と食事サービスの役割」これからの住民参加型活動を考える）。ちなみに全国老人給食協力会は、住民参加型で食事サービスに取り組んでいるボランティア団体のネットワークで、現在全国の約100団体が結集しています。

会場は主催者の予想を大きく上回る2000名以上の参加者で埋まり、丸一日をかけて熱氣あふれる報告とディスカッションが展開されました。

まず基調講演として、28年前より大阪で食事サービスに取り組んでいるミード社会館の岡本千秋館長が、外国の事例も紹介しながら配食サービスの重要性を力説。「食事サービスこそ高齢者にとって最も基本的なサービス。在宅サービスの第一歩であり、高齢者の命と心、具体的な日常生活を支えるためには欠かせない活動」と力説されました。さらに「活動を成功させるには3つのKが必要。それは感受性と感動のK、行動力のK、そして感謝のK。安否確認や見守りだけでなく、高齢者が社会との窓口を開くためにもきわめて大切な活動です」とも強調。全国でさまざまな活動に取り組む参加者にエールを送りました。



報告に耳を傾ける参加者の皆さん



高齢者宅への配食サービスに取り組む団体の分科会



会食サービスに取り組む団体の分科会



統いてパネルディスカッションに移り、平野真佐子・全国老人給食協力会代表をコーディネーターに、岡本千秋さん、中村恵子さん（枚方市立ディサービスセンター・ソーシャルワーカー）、青木利元さん（明治生命・社会貢献役）がパネリストとなつて意見交換。中村恵子さんは、平成5年より取り組んでいる枚方市の事例が報告され、「現在ではヘルパーと栄養士が協力して一日2食を毎日配食しているが、配食サービスの実施で高齢者に活力が湧き、意欲ができるようになります。規則正しい喫食で問題行動がなくなった事例も」と、介護予防の観点からも食事サービスの重要性が強調されました。また明治生命の青木利元さんも「まさに中村さんが言われるようになに食事サービスは介護予防。それだ

け社会的に大切な活動なので、多くの住民参加型団体の活動が、より本格的な事業型NPOの活動として発展してほしい」と力説。さらに明治生命では96年より、地域貢献活動推進のため「愛の声かけ・配食運動」を実施し社員に活動への参加を呼びかけていること、また、数年前から企業の社会貢献担当として住民参加型の団体と関わってきた立場から「こうしたこととも含めて、活動団体と企業とのパートナーシップが重要」とも強調されました。

行政とボランティア団体は、「支援する・される」関係から「共働関係」へ

午後からは2つの分科会に分かれての報告と討論。分科会は、①高齢者宅

への配食サービスに取り組む団体と、②ミニデイやミニ託老所などでの会食サービスに取り組む団体に分かれてのもの。それぞれ活動報告を含めて、突き当たった問題点、それをどう乗り越えてきたか、さらには行政とのパートナーシップの実践事例などが熱っぽく語られました。なかでも「行政には、何かをして欲しい」「ではなく」「こうして欲しい」と話を持っていくのがコツ」という発言は興味深く、こうした発言からも行政とNPO・ボランティア団体との関係が、一方的な「支援する・される」関係から、共に、いま地域社会には何が必要かを一緒にになって考える「共働関係」でなければとあらためて痛感させられます。

分科会のあとの総括討議では、フロアから国會議員・市議会議員の発言



実行委員会を代表して挨拶する「高齢いきいき会」の坂田朱美さん

国会議員の辻元清美さん

への配食サービスに取り組む団体と、食事サービスの必要性を強調。またこれに関わる市民活動への理解を表明しましたが、あらためて活動の大きくなり、全国的な広がりを感じさせられました。このよだな全国シンポジウムは、今後も毎年、開催地を変えて開いていくとのこと。最後に、平野真佐子・全国老人給食協力会代表が「福祉の扱い手の一つとして、地域住民が主体的に参加する在宅福祉サービス団体からも行政とNPO・ボランティア団体との関係が、一方的な「支援する・される」関係から、共に、いま地域社会には何が必要かを一緒にになって考える「共働関係」でなければとあらためて痛感させられます。

分科会のあとの総括討議では、フロアから国會議員・市議会議員の発言は地域住民にとってもアプローチやすい活動です。私たちの活動を、今後より広げていかねば」と総括、シンポジウムは成功裡に閉幕しました。



ボランティア

Vクリッピング ボード

ボランティアをやってみたい！
そんなあなたに耳寄りな情報満載

〈ご利用にあたって〉

ボランティア活動へ参加を希望される方は、事前に各団体にお問い合わせの上、条件等を話し合ってから、参加してください。

●このコーナーに記載の情報はホームページでもご覧になれます。
<http://www.ovnet.or.jp/>



3

羽曳野市の障害をもつ女性を 支援してください。



活動内容 生活介助(トイレなど)、外出介助(車イスを押すなど)、交流・話し相手・遊び相手、自立生活のお手伝いなど。

日 時 水・土・日 12:00~15:00
月1~2回で長期の活動を。

場 所 羽曳野市古市 障害者(女性)の自宅
近鉄南大阪線 古市駅 徒歩15分

募集対象 成人(概ね50歳代まで)の女性。

費 用 会費3000円(登録料)

問合せ先 TEL 06-6357-5797
FAX 06-6358-2218
おおさか行動する障害者応援センター
(担当／中村芳穂)

1

障害者や高齢者と一緒に、 プールで楽しく遊びませんか？



活動内容 車いすの人、目の不自由な人、リハビリ中の高齢者、知的障害者とのプール活動。楽しく安全に水と親しんでもらうためのお手伝いです。

日 時 不定。月1~2回

場 所 各地の公営プール、もしくは民間のプール

募集対象 高校生以上(概ね50歳代まで)、初心者・グループでの参加歓迎。

費 用 ボランティアスタッフとして活動するについて
費用は一切不要。

問合せ先 TEL 06-4794-8299
FAX 06-4794-8298
E-MAIL poolnpo@d3.dion.ne.jp
プール・ボランティア 関西N.P.O.
(担当／岡崎 寛)

4

在日韓国・朝鮮人の老人ホームで 援助と国際交流を。



活動内容 お年寄りの生活全般に対する援助。たとえば、(ADLに合わせた)リクレーション援助、話し相手などによる心のケアなどをお願いします。

日 時 9:00~19:00の間、いつでも可

場 所 大阪府堺市桧尾3360-12
故郷の家デイサービスセンター
泉北高速線 光明池駅、
JR阪和線 鳥羽駅 バス12分

募集対象 どなたでも。

費 用 交通費、食費は自己負担でお願いします。

問合せ先 TEL 0722-71-0881
FAX 0722-71-5474
(福) こころの家族 (担当／村上信代)

2

ボランティアチーム募集！



活動内容 レクリエーションやバザーなど毎月1回開催しているイベントのプロジェクト・チームに、一緒に参加してくれるメンバーを募集しています。イベント当日の会場設営、車の運転など多様な活動です。

日 時 相談のうえで。

場 所 コリアボランティア協会
(生野区桃谷3-12-31 ハピネス丸萬桃谷2F)
JR大阪環状線 桃谷駅

募集対象 どなたでも。

問合せ先 TEL 06-6717-7301
FAX 06-6711-2089
E-MAIL korea-v@mxm.meshnet.or.jp
コリアボランティア協会



Vクリッピングボード



精神障害の方の社会復帰をめざすデイ教室で交流を。

活動内容: 精神障害の方の社会復帰をめざすデイ教室で、書道、音楽の講師および喫茶を手伝っていただける方を求めていきます。
日 時: 9:00～15:00の間いつでも。月に1回程度でも可
場 所: 高槻市奈佐原4丁目3-1 光愛病院
 JR京都線 堺津富田駅（送迎バスあり）、
 阪急京都線 富田駅
募 集 対 象: 専門学校生以上、初心者・外国人歓迎。
問 合 せ 先: TEL/FAX 0726-83-2200
 高槻市ボランティアセンター
 (担当／人見・松永)



かわいい子どもを保育しながら、子育てを学びましょう。

活動内容: 保母の労働時間短縮による土曜日の保育補助。子どもたちと遊んだり、生活訓練や身のまわりのお世話の手伝いをしてください。
日 時: 毎週土曜日 9:00～13:00
 13:00～17:00
募 集 対 象: 高校生以上（概ね10～50歳代）、初心者歓迎。
費 用: 交通費実費
問 合 せ 先: TEL 06-6789-8855
 FAX 06-6789-8856
 以和貴会むぎの穂保育園（担当／村田貴美子）



障害のある5歳の男の子のドーマン法にご協力を。

活動内容: 障害のある5歳の男の子が、機能回復訓練（ドーマン法）をする際のお手伝い。
日 時: 水、土（月1回でも可）
 10:00～16:00の間の2時間
場 所: 高槻市内の障害児の自宅
 JR京都線 高槻駅 徒歩10分、
 阪急京都線 高槻市駅 徒歩15分
募 集 対 象: 専門学校生以上、初心者・グループでの参加歓迎。
費 用: 交通費は自己負担です。
問 合 せ 先: TEL/FAX 0726-83-2200
 高槻市ボランティアセンター
 (担当／人見・松永)



アイバンク登録キャンペーンにご協力ください。

活動内容: 今、全国で5800の方が角膜移植を待っています。街頭、もしくはイベント会場などのパンフレット・チラシ等の配布、その他会の運営への参加などにご協力ください。
日 時: 日曜日 10:00～16:00頃 月に1～2回
場 所: 大阪府内
募 集 対 象: 高校生以上。初心者、グループ、親子での参加歓迎。
費 用: 交通費1000円まで支給
問 合 せ 先: TEL 06-6427-9266
 FAX 06-6427-9291
 アイバンク友の会（担当／征録【セイロク】）



市内の独り暮らしのお宅に給食サービスを。

活動内容: 運転・配達、独り暮らしのお年寄りを対象としたお弁当の配食です。
日 時: 11:30～12:00 月曜～金曜の中から週1回。
 長期の活動が理想です。
場 所: 柏原市安堂町「柏原市ボランティアセンター」
 近鉄大阪線 国分駅
募 集 対 象: 専門学校生以上（30歳代～）、初心者歓迎。
問 合 せ 先: TEL 0729-72-6786
 FAX 0729-70-2173
 柏原市ボランティアセンター



児童養護施設の子どもたちと遊びませんか。

活動内容: 児童養護施設「生駒学園」に正月、ゴールデンウィーク、お盆に行くプログラム
日 時: 毎年、1月3日・5月5日・8月15日前後
場 所: 生駒学園
 近鉄大阪線 新石切駅 徒歩10分
募 集 対 象: 高校生以上（概ね10～50歳代）、初心者・外国人歓迎。できれば継続して参加できる方。
費 用: 交通費実費
問 合 せ 先: TEL/FAX 0720-26-4655
 E-MAIL CXJ13712@niftyserve.or.jp
 寝屋川市民たすけあいの会（担当／富田昌吾）

「福祉のイラストおもちゃ箱」を発売

福祉のさまざまなシーンを切り取ったおもちゃ箱のような楽しいイラスト集が出来上がりました。福祉や医療・教育関係の現場で、非営利目的の機関誌等のカットとしてお使いください。

*イラストは本誌のVサイン(P.10～13)／情報コーナー(P.14～15)でも使用しています。



内容 A B版／81頁630カット
 値段 1500円（送料310円）

問合せ・申込み先
 ONE企画
 〒590-0144 堺市赤坂台5-23-7
 TEL/FAX 0722 (98) 3915
 中野千春まで

北 摂

池田市社会福祉協議会 設立50周年

池田市ボランティアセンター 設立10周年 記念式典・イベント開催！



アットホームな市民の式典

11月20日の抜けるような青空のもと、池田市社会福祉協議会設立50周年＆ボランティアセンター設立10周年の記念式典が池田市民文化会館で開催され、1400人の人出でにぎわいました。

池田市社会福祉協議会は1949（昭和24）年に大阪府内で最初に設立された社協で、今年設立50周年を迎えます。またボランティアセンターも今まで設立10周年。共に記念すべき節目の年とあって、関係者や市民の皆さんのが気持ちのこもった、とてもすばらしい式典となりました。

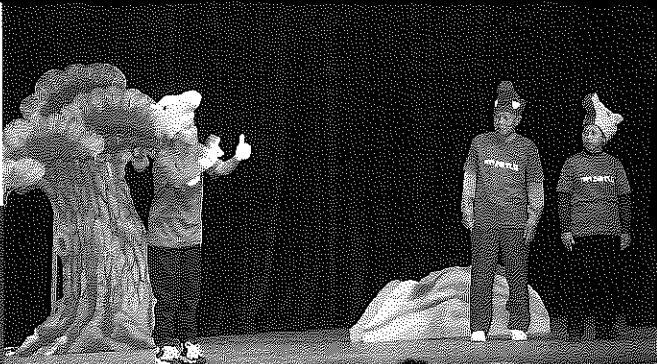
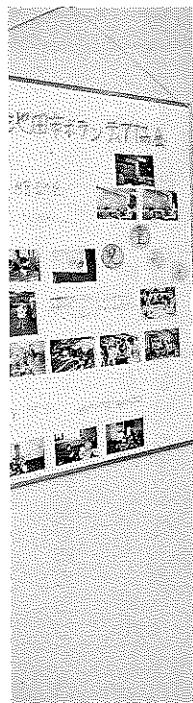
会場受付では、プログラムと一緒に「いけだの水」を来場者全員にプレゼント。「喉を潤せるうえに池田らしさもあって、とてもいいアイディア」と、訪れた市民にも大好評。2階へと続くスロープを利用したギャラリーの活動紹介パネル展示には、校区福祉委員会や各ボランティアグループの力作が並びます。子どもたちには、会場内の各所に設けられたスタンプコーナーを回つてスタンプを集めるスタンプラリーが人気。その他にもボランティア団体

や企業などの展示・販売ブース、介護保険相談コーナーや車いす体験コーナーなどがあり、熱心に話し込む来場者の姿も見受けられました。

「福祉のまち 池田」を目指して

午後1時からの記念式典は、神田小学校の児童たちによる勇ましい和太鼓演奏で開幕。続いて池田市社協の畠田会長の挨拶をはじめ、功労者の表彰やボランティア団体への感謝状贈呈などが行われ、市民が各自のボランティア体験などを語りました。式典での手話通訳と要約筆記もボランティア団体の協力によるものです。

その後、マリンバ演奏やボランティア団体によるコーラス、中学校筝曲部の筝の演奏、ボランティア連絡会の手話劇が披露されました。手話劇「いのししいのこ」は、台本から衣装や小道具、大道具まですべてボラ連メンバ



手話劇「いのしし いのこ」の
シーン



一による手作りの劇。主人公の「いのこ」がお嬢さん探しの旅を通じて自分の個性と魅力を再発見するという心温まるストーリーで、ラストの「みんな誰だっていいものがある。みんな違って、みんないい」という台詞が、関係者全員の心からのメッセージ。最後は出演者と観客の大合唱でフィナーレを迎えた。

“福祉は人なり”を七ツトーに



池田市社会福祉協議会会長
はたた 畑田美智子

池田市社会福祉協議会の誕生は昭和24年。府内で最初、全国でも最も早く発足した社協のひとつです。人口約10万人の池田には、昔から受け継がれてきた助け合いの精神が今も生き続けています。隣近所のふれあいも盛んで、「おはようございます、今日はどちらへ?」という挨拶の声が、街のあちこちから聞こえてくる……池田市民のそんなあたたかい気質が、今の池田を育んできたのだと思います。大にしたいのは「人と心」。今後は、池田市および関係機関・団体との連携もばかりつ、「福祉のまち池田」の実現に向けて、地域の皆さんとのネットワークをますます拡大し、活発化させていきたいと思います。

より活発な市民ネットワーク構築を目指して

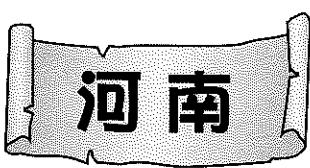


池田市ボランティア連絡会会長
みつほ 谷本充甫

池田のボランティア活動の特色として、各ボランティア団体どうしの横のつながりが親密なことがあげられます。個々の活動のみならず、互いのサークルが専門性をいかして連携する動きが活発で、いくつかのグループが協力してひとつのイベントを行うというような例も多々あります。

行政や社協がタテの糸ならばボラン連の役割はヨコの糸。人と人のつながりこそが私たちの財産です。ボランとしては、これからも「わ（輪・和・話）」を大切に、ボランティアのまち池田を目指して、地域に根差したボランティア活動を応援していくことを考えて

「市民の皆さんと一緒に、池田ならではのあたたかみのある式典を目指しました」という畠田会長の言葉どおり、オリジナリティある「市民による市民のための」催しとなつた今回の記念式典。池田のこれからを予感させるかのように、アットホームなにぎやかさにつつまれた1日でした。



第2回ボラ連バザー、大盛況！

河内長野市ボランティア連絡会

10月31日の日曜日、昨年と同様、河内長なつたことは大きな成果だったのではないでしょうか。

野市商工会青年部主催の「ふれあい楽市きらく市」にテントを借りて、バザーを実施しました。

お天気にも恵まれ、開店を待ちきれないのでお客様のため定刻より早めにスタート。お昼ごろにはほぼ完売という好成績で、収益は12万1730円。募金ビンの952円と合わせて、計12万2682円をボラ連会計に入金しました。

今年の会場は市役所の周辺で、主会場は市役所裏の駐車場。私たちのリサイクル広場はロビーに面した市民広場の方で、道路からのメインストリートですから、開店前から黒山の人だからができる売り子さんはてんてこまいでした。

取締役もさることながら、ボラ連各グループの方々との協働作業（献品の確認・値付け・荷造り・運搬、会場での展示・セールス等々）の中で、はじめてお会いした人たちとも仲良くなれ、横のつながりがより密にな



東大阪市のボランティア人材発掘の試み



今回は、市民にボランティア活動への理解と参加を求める「あいあいサロン」という啓発活動についてご紹介したいと思います。

ボランティアの人材確保はどこの地域でも大きな課題。東大阪市ではこの問題について今年の1月から準備を始め、いろいろな角度からの勉強会を開いて検討。その結果、月1回第4土曜日の午後2時から2時間の「あいあいサロン」を開催することになりました。プログラムは、ボラ連各グループからの活動内容の説明、ゲストスピーカーのお話、ペンペン草「ボランティア活動つて楽しい？辛い？」

参加者数は、第1回が92人、第2回以降は50人ほど。案内チラシには「みんな集まって情報交換しましょ！ より豊かな、暮らしやすい社会を作るため」「フリートークングで楽しく話そう」とありました。

このような取り組み事例についての会話、健康体操や手芸などの体験プログラムとなっていて、司会進行役もそのつど替わること。ちなみに、9月から11月のサロン活動は次のようないました。

（広報部会 河南ブロック担当 宮田記）

●10月
活動紹介——独居老人・障害者に福祉電話と介助活動「はだしの会」
特別講座——里親制度とは
健康体操——毎日できる簡単体操



●11月
ゲストスピーカーのお話
小地域ネットワーク事業とボランティアの関わり
体験プログラム——ペンシルバルーン（風船）で動物づくり

●12月
ゲストスピーカーのお話
ペンペン草「ボランティア活動つて楽しい？辛い？」

河北

「高齢者のつどい」に6グループが参加

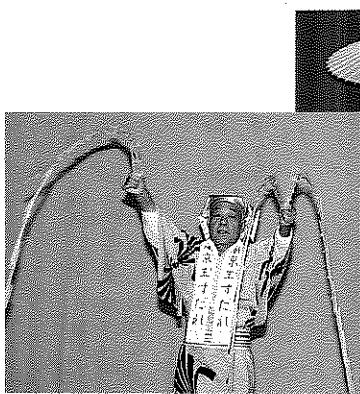
門真市ボランティアグループ連絡会

11月10日、門真市南部市民センターにおいて門真市社協老人福祉部会主催の「高齢者のつどい」が開催されました。

市内の高齢者230名を迎え、第1部では介護保険制度について市の担当職員が講演。続く第2部ではアトラクションが披露されました。最後は「かどま音頭」のにぎやかな雰囲気で幕を閉じました。

このイベントに、門真市ボランティアグループ連絡会から6つのグループがそれぞれの特技を生かして参加。第2部のアトラクションには、門真市老人クラブ連絡会の「太鼓」や新舞踊をはじめ、「アラジンマジッククラブ」と「門真マジック同好会」から3名が出演し、好評を博しました。音楽に合わせて筒から万国旗が出てくる手品に、場内の観客から盛大な歓声が。また、日頃あまり見る機会のない「南京玉すだれ」では、次から次に変化していく様子にみんな目を奪われ、最後に枝垂れ柳が出来上がる割れんばかりの拍手が会場を包みます。

また、特設展示場では、手作り介護用品の作成を行っているボランティアグループ「若葉会」が作成品を展示。介護用品の紹介をしたり、相談を受けたりと大にぎわい。車イス用のレイン

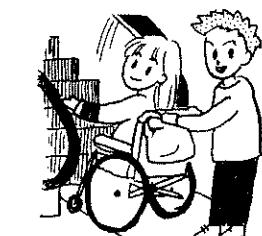


コートや床ずれ防止用のビーズマットなどに足を止めて興味深そうに見入る参加者の姿が多く見受けられました。さらに、当日は高齢者が多数参加するということで、介助ボランティア「みどり会」「まどか」「つくし会」から15名が協力。参加者のスリッパの履き替えや、ホールまでの誘導、階段昇降の介助などにあたりました。「高齢者のつどい」もつつがなく終了。参加された高齢者の楽しそうな笑顔を思い出す度に、出演したグループも介助にあたったグループも満足感に包まれ、今後のボランティア活動に決意を新たにする1日となりました。

泉州ブロック文化交流会

ボランティア・ネットワーク めんたいフランス

泉州



「学生Vが地域交流」

ボランティア・ネットワーク「めんたいフランス」には、三つの理念があります。それは、「ボランティアをする人・したい人の交流の場とボランティア情報交換の場をつくる」「どこでも何でもボランティア」「自分発見」。

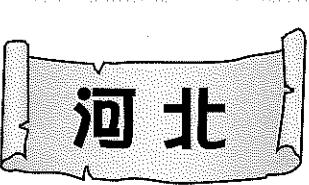
市民グループ「ボツボ」と学生が共同で音訳ボランティア

桃山学院大学では、視覚障害を持つ学生を対象とした対面朗読制度があります。現在、34人の学生がボランティアに登録。学生となると、和泉市の音訳グループ「ボツボ」や社会人の聴講生、非常勤の先生方が協力しながら活動しています。

対象者が授業で使う教科書・プリント類をテープ録音するのが主な活動ですが、中でも「ボツボ」のメンバーは、主に学生が活動しにくいテスト期間などにピンヒッターとして大活躍。今後、大学に設置されているウインドウズ95の画面を読み上げたり、スキヤナで読みとった墨字を朗読できる音声パソコンや、専用のプリンタ等の設備を十分活用していくこと、マニュアルの作成が進められています。

の悩み等いざこも同じ感がありました。その中で、岸和田の職員の方が連絡会を新設するにあたって具体的な質問をされたのに対し、各市が状況を発表。また大阪府ボランティアセンターの青木所長補佐より適切なアドバイスがあり、議論が活発化し、連絡会の進め方を見直す良い機会となりました。

その後、本市に新しくできた「老健施設伽羅の郷」と「総合保健センター」をご見学いただき、閉会致しました。



「第8回おおさかボランティアフェスティバル」盛大に開催

ハイヒールのシンゴ・モモコさん
も駆けつけてくれました



いきいき歌体操「さわやか」(豊中市)の皆さん



人気を集めたミニSL

「言葉を交わせばみんな仲間、すべての世代のための社会をめざして」をテーマに、10月3日の日曜日、「第8回おおさかボランティアフェスティバル」が盛大に開催されました。会場はO.B.P.のツイン21ギヤラリー（屋内会場）と、その玄関広場（屋外会場）。当日は大阪府内から約5000人が参加し、すっかり恒例となつたフェスティバルを盛り上げました。

山直南保育園（岸和田市）のかわいい園児たちの鼓笛隊演奏でステージは開幕。今年は国際高齢者年を記念した

催しとあつて、府内のシルバーボランティアグループが民謡や踊り、また演劇や歌体操、フォークダンスなど日頃の活動を披露。加えてハイヒール「リンクゴ・モモコ」さんのトークやマジックショー、さらに女性3人の手話ボーカルグループ「ピュール」の歌とダンスもあつて、ステージは例年にも増して盛り上りました。会場内にはお茶席や似顔絵コーナー、また介護保険相談コーナーも設けられて、ここでは約30件の相談が。

先着500人に花鉢がプレゼントされた屋外会場では、ミニSLが子どもたちに大人気。乗車を待つ列ができるほどで、おでんやタコヤキの屋台なども出てお祭り気分も最高潮。まさに、主催者も参加者も一体となつたフェスティバルとなりました。最後に、八老劇団（八尾市）や、写真ボランティアの松井久枝さん（泉大津市）、対面朗読の山本増江さん（四條畷市）など、長年それぞれの分野でボランティア活動を続けてきた1団体と6人の個人が

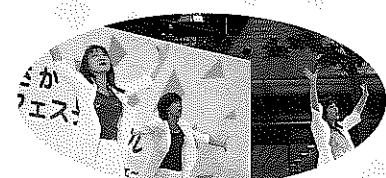
「ほのぼの賞」「親善賞」「よりそい賞」などを受賞。審査にあつた瀬川一人さんから「これからもさらなるご活躍を」とエールと拍手が送られました。



お茶席で「ハイ・ポーズ！」



ポーズもバッヂリ、山直南保育園の鼓笛隊



手話ボーカル「ピュール」の歌とダンス



「かわいく描いてね」似顔絵コーナー

第4回 海外で日本語を教える ボランティアセミナー



大阪YMCAでは、ミヤンマー、ネパールにおける日本語教育の振興を通じて国際交流を進めたいと考えています。そこで、国内での日本語教師養成講座と、ミャンマー・ネパールの日本語学校での実習がセットになつたセミナーを準備しました。

日時 ○国内セミナー 1/22・23、2/5・19、3/4
○海外セミナー 土曜日全5回、13時～17時
説明会 ①12/18(土) 14時～
②12/21(火) 18時～
③1/11(火) 18時～
(口座が合わない場合は応相談)

参加希望者はいずれかにご参加ください。

定員 各国約10名(先着順)

受講料 国内セミナー 36,000円

海外セミナー 184,000円

非会員の方は、短期セミナー入会金(10,500円)が別途必要です。

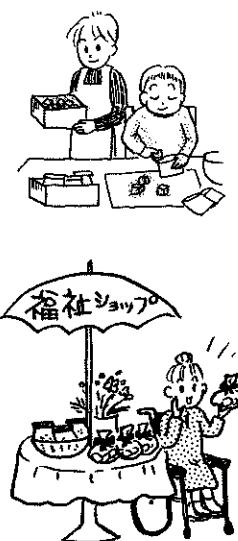
申込締切 1/13(木)

申込みと問合せ 大阪YMCAウェックセル・ラーニングセンター
(担当: 鶴田)
TEL 0552-00007

大阪市港区弁天1-2-2-800
(地下鉄・JR弁天駅前出口C200
2番街8F)

TEL 06(6577)1456
FAX 06(6577)1457

第7回 豊中ボランティアフェスティバル



日時 2/20(日) 10時～15時30分
場所 豊中市立市民会館

内容 パネルディスカッション
・障害者福祉作業所オンラインステージ
・ボランティア体験コーナー
・パネル展示コーナー
・障害者福祉作業所の出店

問合わせ 豊中市社会福祉協議会ボランティアセンター
TEL 06(6841)9393

PART1 ボランティア・ピギナーのための講演会
日時 1/27(木) 13時30分～16時
場所 ラポールひらかた 4階 大研修室
内容 市内のグループが3分PRで活動を発表

PART2 ボランティア・ピギナーのための講演会
日時 2/9(水) 13時30分～16時
場所 ラポールひらかた 4階 大研修室
内容 大阪ボランティア協会事務局次長
名賀亨さんのお話

問合わせ

枚方市社会福祉協議会

枚方市ボランティアセンター(担当: 倉本)

TEL 0720(41)0181

いすれも12/16よりTEL・来所で参加
申し込みを受付けます。

自助具製作ボランティア育成講座

高齢者や障害者の自立に欠かせない自助具を作つてみませんか。

日時 1/30(日) 2時開場 3時開演

場所 高槻現代劇場大ホール(市立文化会館)

参加券 3000円

内容 管弦楽 関西フィルハーモニー管弦楽団

指揮 本名徹次

ソリスト ソプラノ 藤本富美子

メゾソプラノ 村上怜子

テノール 井場謙一

バリトン 田中由成

合唱 合唱 命輝け高槻第九コンサート合唱団250名

問合せ 高槻市ボランティア連絡協議会

TEL 0726(83)2200

ボランティアスクール入門講座

PART1 自分に合った活動を探してみませんか

日時 1/27(木) 13時30分～16時

場所 ラポールひらかた 4階 大研修室

内容 実費のみ負担

大阪府立介護実習・普及センター 自助具工房

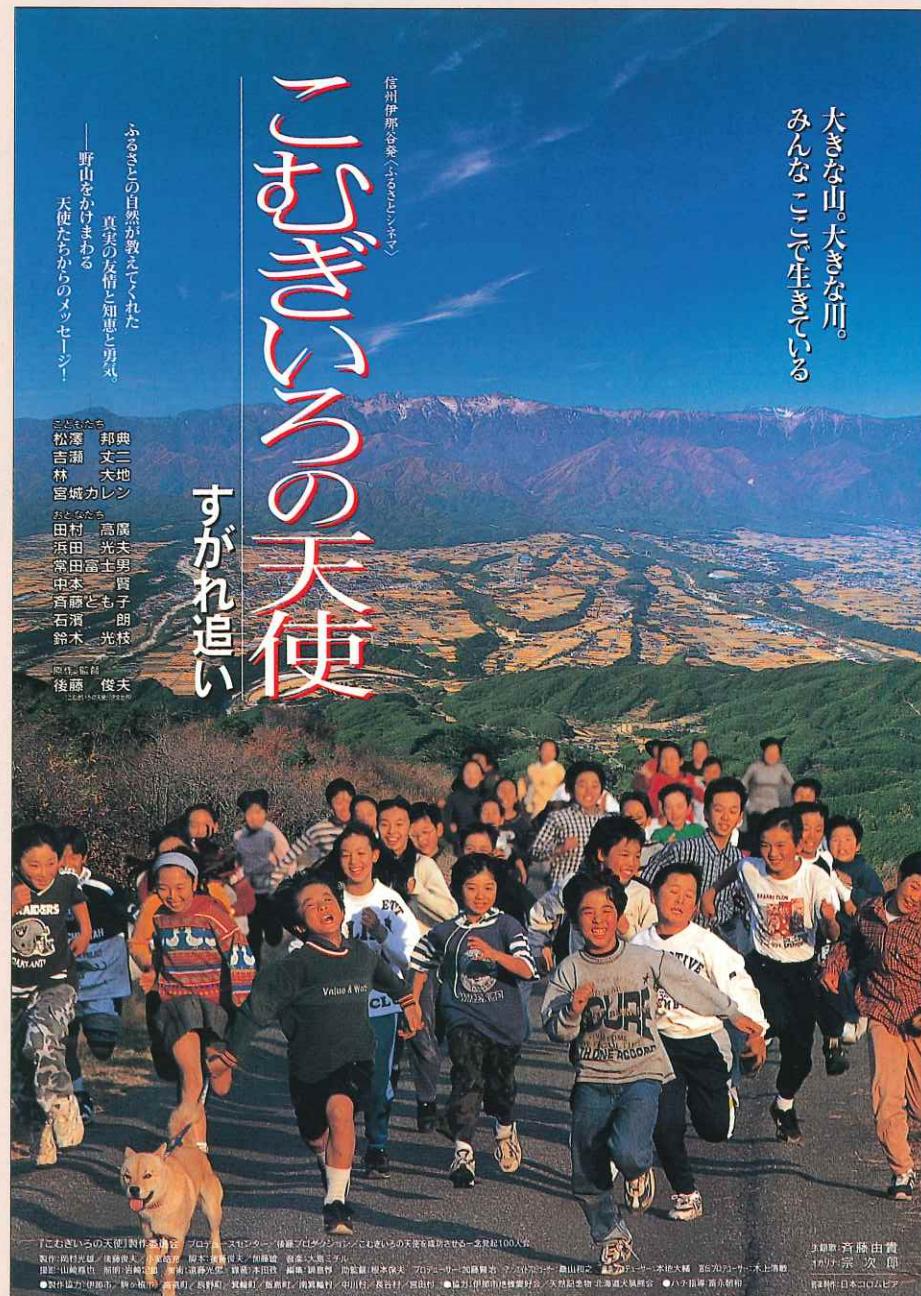
主催 大阪府地域福祉推進財団

介護実習・普及センター

TEL 0726(26)3381

大阪府社会福祉協議会

TEL 06(6762)9631



「こむぎいろの天使」 上映試写会

とき／2000年1月14日 午後3時～ ところ／大阪社会福祉指導センター 4階ホール

入場／無料 主催／大阪府市町村ボランティア連絡会

申込み／前日までに大阪府ボランティアセンターまで、電話かFAXでお申し込みください。

TEL:06(6762)9631 FAX:06(6762)9679